

# 聴き上手は生き上手 ～傾聴ボランティアから仲間作り～

社会福祉法人 みよし市社会福祉協議会  
〒470-0224 愛知県みよし市三好町陣取山 39-5

## 助成事業の概要

- 1 開催時期：平成25年6月7日～平成25年7月5日
- 2 実施目的：傾聴ボランティアを通して社会貢献と人との関わりを維持し、仲間作りの場として地域での孤立を防ぐことと社会参加への意欲の向上を目的とする。
- 3 内容：傾聴ボランティアは人との言葉を媒体にした直接的関わりであり、それはセルフケアとして成り立つのではないかという仮定を基に傾聴ボランティア活動を定年後の生活の一部として位置付けることで人との関わりの疎遠化を防ぐことと同じ境遇の仲間作りを最終的な目的とした学習の場とする。

### ○第1回：講演会

NPO 法人ホールファミリーケア協会の方を講師に迎え、講演会形式で研修を行い、傾聴の目的や効果、技法について学ぶ。

### ○第2回：ボランティア体験

みよし市内の高齢者福祉施設において実際に利用者を相手に傾聴ボランティア体験を行う。

### ○第3回：仲間作り

講座全体を振り返りながら傾聴ボランティアについての振り返りと今後のボランティア活動の展開をグループワーク形式で話し合う。

## 事業の成果

講座参加者は予定の人数を越え42名となり、ボランティアセンターでは他の内容の講座も行っているが、当講座のように参加者30名を越えるようなことはほとんどないことから傾聴ボランティアという内容と仲間作りへの関心の高さが分かった。

第1回の講演会においてはNPO 法人ホールファミリーケア協会の方を講師にお招きし、「傾聴的な聴き方と傾聴ボランティアのすすめ」と題し研修を行った。傾聴の具体的な技法や傾聴ボランティアから得られることなどの内容であったが参加者からは「具体的な例題を出した話が分かりやすかった」「傾聴という以前に人間としての生き方を学ぶことができた」などの意見がアンケートから集めることができた。

第2回のボランティア体験においては、実際に特別養護老人ホームの利用者の方との関わりの中で、第1回で学んだことを活かしながらボランティア体験をするという内容であったが、机上で学習した内容がそのまま利用者の方に通用することは少なく、対人間との関わりの難しさと奥深さを学ぶことができたとの感想が聞かれた。

第3回の仲間作りでは、講座全体の振り返りとケース検討、今後のボランティア活動の展開を参加者をグループ分けしたグループワーク形式で行った。参加者同士で顔を合わせるのが3回目ということもあり、和やかな雰囲気の中、講座が進んだ。参加者同士でボランティア体験の振り返りで「こういう人にはこういう対応をしたほうがい

いのか」「こんな返答をしたら会話が盛り上がったよ」という体験を共有し、今後も継続してボランティアを続けていきたいという参加者が多くいた。第3回終了時に参加者の中から、この講座が終了しても参加者同士で集まって学習を深めたいという意見があり、8月に行うことに決まった。

このような経過から、参加者同士で傾聴ボランティア活動を通して仲間ができ、今後も傾聴ボランティア活動を継続していくこととなった。

## ■ 成果の広報、公表

上記4のような成果を、みよし市内全世帯に配布される当法人広報誌「社協だより」への掲載を行い、この講座の成果を公表する。また、講座中地元ケーブルテレビの取材もあり講座の様子等もみよし市内及び近隣市町に放映された。インターネット媒体も活用し、当法人ホームページでの掲載も行う。

また、講座を通してできた仲間が団体化した際にはボランティア活動先との調整も必要となるため、市内福祉施設や独居高齢者への広報活動を行う。その際には地元民生委員等にも団体の存在を知ってもらうための広報活動をしていく必要がある。そして、今後の団体内での学習の様子やボランティア活動についてもホームページを通して一般公表をしていく予定。

## ■ 今後の展開

### （1）団体の自主運営

仲間同士でできた団体を自ら運営していけるよう運営に関する助言を行っていく。自主運営を勧めていくことで自由な独自の活動ができるようにしていく。

### （2）参加者のボランティア活動外への社会参加の

### 波及

この講座を通してできた仲間との関わりによって、社会参加への意識を高めることでボランティア活動以外での社会参加活動（自宅の地域行事への参加等）を行うことを推奨し、地域での孤立を防ぐようにする。

### （3）福祉施設の地域開放の促進

傾聴ボランティアの活動先を市内高齢者福祉施設から始め徐々に他の施設へと活動先を広げ、地域のボランティアが多く施設へ出向くことで市内福祉施設の地域開放を進め、みよし市民にとって福祉施設が特別な場所ではないという意識を持ってもらえるよう推進する。

### （4）対象者の拡大

みよし市内には施設には入所をしていないが、独居老人と呼ばれる方が多く在住している。その方から日常で会話をすることが少なく、誰か話し相手がほしいというニーズが少しずつ増えてきている。団体独自での学習や経験を積み重ねていき、いずれは施設のみではなく、みよし市内のニーズのあるところで活動ができるように団体に働きかけていく。